



## 財政分析の第一歩は 第一次情報から

未着手の予算参照書・コード番号の活用

年度末を迎えて、「令和2年度予算」の審議が佳境に入っている。予算の規模が拡大し、国民生活に直接影響を及ぼすことが多くなり、財政や国の予算を調査・分析する必要性を実感しているにもかかわらず、どのように見ればいいのかわからない方が多い。そういう場合に国の予算を分析する手法として、予算と併せて国会に提出される予算参照書に付されている11桁のコード番号を活用することが役に立つ(図表1)。

図表1 予算参照書のコード番号

コード番号	項目	国土交通省所管 国土交通本省		
		令和2年度要求額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増△減額(千円)
046	景観形成推進費	136,705	112,037	24,668
95016-2123-09	景観形成推進調査費	6,705	10,185	△ 3,480
95016-2855-16	景観改善推進事業費補助金	130,000	0	130,000
95016-2855-16	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金	0	101,852	△ 101,852

(出所) 「令和2年度一般会計予算」809頁より抜粋

令和2年度の一般会計予算参照書では7,000以上の経費に細分化され、また特別会計予算参照書でも700を超える経費に分けられて、いかなる事業に予算が計上されているかが示されている。それぞれの経費にはコード番号が付され、社会保障関係費や文教・科学振興費などの「主要経費別」や、人件費や旅費などの「使途別」、あるいは建設国債発行の対象であるか否か等の基準から分類されている。

コード番号を読み解きながら一つ一つの経費について分析することは、当該経費に係る予算がどのような性格を持っているかを考えることに役立つ。さらに、コード番号を整理し、あるいは集約することによって国の予算の全体像が明確に見えてくる。

以前は予算書や予算参照書も紙媒体しか存在しなかったために、せつかくコード番号が付されていても1,000頁もの一般会計予算書から一つ一つ数字を拾い、集計する必要があった。また、政府が提出した予算を国会が修正しようと思っても、少し入り組んだ予算の修正は極めて困難であった。例えば、全体の補助金等を一律に10%削減する修正案を作成する場合、歳出予算の全ての経費の中から補助金等を拾い出すことが求められるが、7,000超の経費の中からもれなく補助金等を抽出することは難しい。

しかし、行政の透明性向上などを目的とした電子政府構築計画(平17.7.17)の一

環として予算書の電子情報化が進められてきた。紙媒体中心から電子政府への移行の取組のおかげで、予算の分析においては、財務省がホームページで公開している「予算書・決算書データベース」(<https://www.bb.mof.go.jp/hdocs/bxsselect.html>) のサイトが作成されていてとても役に立つ。紙媒体でしか存在しなかった予算書が電子情報化されて、容易に加工・集計ができるようになっているのである(図表2)。

図表2 令和2年度一般会計予算

所管	組織	項目	平成31年度要求額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減額(千円)
皇室費	皇室費	内廷費	11,737,259	9,859,615	1,877,644
		(内廷費)	324,000	324,000	0
		宮廷費	11,149,027	9,171,445	1,977,582
		諸謝金	164,970	38,457	126,513
		報償費	673,238	318,877	354,361
		庁費	4,104,493	3,938,408	166,085
		招宴費	135,596	68,492	67,104
		各所修繕	1,381,442	1,329,719	51,723
		自動車重量税	1,502	1,448	54
		施設整備費	4,640,761	3,417,261	1,223,500
		文書費	47,025	58,783	△ 11,758
		皇室費	264,232	364,170	△ 99,938
		(皇室費)	264,232	364,170	△ 99,938
国会	衆議院	衆議院	73,574,157	73,351,378	222,779
		議員歳費	64,404,501	64,150,434	254,067
		議員歳費	10,119,274	43,709	9,715,565
		議員基本給	9,764,338	8,680,085	1,084,253
		議員諸手当	4,479,343	4,354,204	125,139
		超勤手当	1,475,594	1,454,770	20,824
		議員秘書手当	12,251,283	12,076,816	174,467
		非常勤職員手当	243,034	224,328	18,706
		休職者給与	30,367	34,463	△ 4,096
		短時間勤務職員給与	159,279	158,534	745
		公務災害補償費	23,076	23,294	△ 218
		退職手当	1,205,749	1,399,778	△ 194,029
		議員秘書退職手当	307,005	251,849	55,156
		弔慰金	41,408	41,408	0
		児童手当	73,900	70,810	3,090

(出所) 財務省「予算書・決算書データベース」からのダウンロード資料

平成22年度までの予算書・決算書はPDF版、XML版として公開され、平成23年度以降はExcel版も追加されて使い勝手が増している。この機能を活用した分析が、本誌(『経済のプリズム』第186号)の「目別分類による予算の論点」である。膨大なデータを集計する地道な作業が必要なために、これまでほとんど活用されてこなかった分析手法と言える。

政府は国の予算の分析に資するために「予算及び財政投融资計画の説明」を国会に提出している。これは主要経費別の観点からコンパクトにまとめられ、予算編成に携わった財政当局が作成した資料として広く活用されていて、予算内容の理解、分析や課題の発見にも有益な資料である。しかし、分析の手法や予算の見方が限られると、既に与えられた土俵の上での検討とならざるを得ず、別の観点、あるいはより広い視点からの議論が難しくなってしまう。

第一次情報である予算書の内容をコンパクトにまとめて解説した「予算及び財政投融资計画の説明」は、いわば第二次情報である。整理された予算編成当事者の視点からの解説とともに、第一次情報、すなわち原典に当たって自分なりに整理し直すことは、調査・分析の第一歩であろう。

(予算委員会調査室 藤井亮二 内線75320)